

## 自己評価報告書(最終報告)

報告者

生活・健康系コース(技術・工業・情報) / 菊地 章

### ■平成25年度の目標に対する自己点検・評価

#### I. 学長の定める重点目標

##### I-1. 教員養成大学教員としての授業実践

中央教育審議会は、「教職生活の全体を通じた教員の資質能力の総合的な向上方策について」答申したが(平成24年8月28日)、その中で「教員を高度専門職業人として明確に位置付ける」と提言している。この答申の考え方を実現するため、教員養成大学に籍を置く教員として、将来、教師を目指す学生に対してどのような授業実践を展開すればよいか。あなたの取り組みを、①授業内容、②授業方法、③成績評価の三つの観点から示してほしい。

#### 1. 目標・計画

- ①授業内容の面では、これまで通り、学生への興味・関心を引き付ける授業として更なる改善を行う。
- ②授業方法については、実習や演習をより多く取り入れた授業展開を行い、実際の小・中学校での授業に即した授業方法に改善する。
- ③成績評価については、これまで通り、当初に成績評価の観点を示しての厳格な評価を続ける。

#### 2. 点検・評価

- ①授業内容の面では、これまで通り、学生への興味・関心を引き付ける授業として更なる改善を行った。
- ②授業方法については、実習や演習をより多く取り入れた授業展開を行い、実際の小・中学校での授業に即した授業方法に改善した。
- ③成績評価については、これまで通り、当初に成績評価の観点を示しての厳格な評価を続けた。

## II. 分野別

### II-1. 教育・学生生活支援

#### 1. 目標・計画

- 授業内容・方法の更なる改善を図り、学生の学習意欲を向上させる。
- 学部ならびに大学院(修士)の授業において、実習を多く取り入れて授業内容の定着を図る。
- 留学生の指導に重点を置き、単位履修の質を維持する。

#### 2. 点検・評価

- 授業内容・方法の更なる改善を図り、学生の学習意欲を向上させた。
- 学部ならびに大学院(修士)の授業において、実習を多く取り入れて授業内容の定着を図った。
- 留学生の指導に重点を置くとともに、単位履修の質を維持した。
- 学生の教員採用試験に対する個別指導を徹底し、合格に至る教員としての資質向上を支援した。

### II-2. 研究

#### 1. 目標・計画

- 学生の研究指導を徹底し、学会発表に結びつける。
- 自己の研究を発展させ、学術論文としての成果を出す。
- 連合大学院学生を指導し、研究内容を深化させる。また、学会に論文を投稿させる。

#### 2. 点検・評価

- 学生の研究指導を徹底し、学会発表に結びつけた。
- 自己の研究を発展させ、学術論文としての成果を出した。また、既に公表した研究成果が認められ、日本産業技術教育学会賞(論文賞)を受賞した。
- 連合大学院学生を指導し、研究内容を深化させ、学会に論文を掲載させた。

## Ⅱ－3. 大学運営

### 1. 目標・計画

- 教育研究評議会委員として大学運営に貢献する。
- 兵庫教育大学連合大学院副研究科長として大学運営に貢献する。

### 2. 点検・評価

- 教育研究評議会委員として大学運営に貢献した。
- 兵庫教育大学連合大学院副研究科長として大学運営に貢献した。

## Ⅱ－4. 附属学校・社会との連携, 国際交流等

### 1. 目標・計画

- 中学校教員に対する現職研修を本学で実施し, 本学の知名度を高めることにより大学運営に貢献する。
- 附属中学校との連携を進め, 学生の教育実習等の活性化を図る。

### 2. 点検・評価

- 中学校教員に対する全国規模の現職研修を本学で実施し, 本学の知名度を高めることにより大学運営に貢献した。
- 附属中学校との連携を進め, 学生の教育実習等の活性化を図った。

### Ⅲ. 本学への総合的貢献(特記事項)

学生の教員採用試験合格への支援, 学生の研究活動支援, 自身の研究活動活性化, 教育研究評議会委員ならびに連合大学院副研究科長としての大学運営等, 幅広く本学へ貢献した。